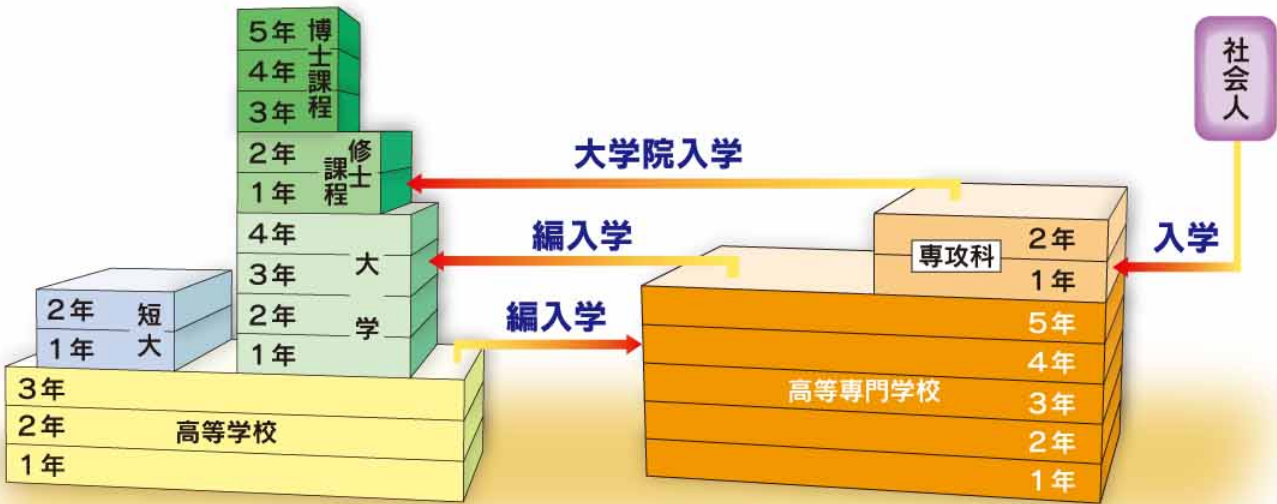


# 高専本科と専攻科の位置



## 卒業生からのメッセージ



**向井 明日佳**  
(大分市立東陽中学校出身)

■平成17年3月  
制御情報工学科卒業  
■平成17年4月  
株式会社ニコン入社  
製造技術本部生産技術部  
表面技術課 勤務

高専で過ごした5年間はあっという間でした。いろいろな思い出があり、時々ふと思い出しては懐かしく感じています。今ではカリキュラムの変更でなくなりましたが、私が低学年のころは制御情報工学科でもまだ機械の実習や授業がありました。とても貴重な経験だと感じていますし、経験できてよかったなと思っています。というのも、現在、私は株式会社ニコンで働いており、研修時には機械加工を行うこともありました。忘れていたことも多かったです。一度経験していたという

ことで戸惑うことは少なかったです。研修が終わり、現在の職場に配属されても材料の知識は必要です。学生の時には、勉強していることが将来どんな風に役に立つのかわからず、ただ与えられたことをこなしているという感覚でしたが、学校で学んだことは意外なところで役に立つものです。学校で学ぶことすべてを理解し、自分のものにするというのは無理だと思いますが、いろいろなことに興味を持ち、浅くても広く知識をもつことが大切だと思います。5年次では卒業研究で苦勞することになりましたが、卒業研究はがんばった分だけ自分の力になり、また達成感も大きくなります。1年間の研究はなかなかできる経験ではないので一生懸命がんばってほしいと思います。5年間の高専生活では友達とおもいきり遊び、部活やバイトなどでもいろいろな経験をして楽しい思い出をたくさん作ってください。



**茅野 良太**  
(佐伯市立城南中学校出身)

■平成18年3月  
土木工学科卒業  
■現在  
大分高専専攻科在学

「BE GENTLEMAN」。大分高専の規律の根幹を成す言葉です。この言葉の意味は、自分の行動に責任を持ち、紳士的な態度で学校生活を送ってくださいということです。つまり紳士的であればアルバイトOK！運転免許の取得OK！バイク・車で通学OK!とかなり自由な校風となっています。しかも他の高校に比べ休みが多く、自分の時間を十分にとることができます。ですから、趣味に興じるもよし、勉学に励むもよし、充実した学校生活を送ることが可能となっています。

私はこのような校風が合っていたのもあって、大分高専卒業後も専攻科に残り、大分高専で勉強しています。専攻科には学費が他の国立大学に比べて半分で済むことや、生活環境の変化が無いこと、少人数教育、研究の継続などのメリットがあり、魅力的な進学先の1つとなっています。進学には専攻科の他に大学編入という道も開かれており、こちらはどこの大学を受けるにしても（国立大学に限るが）センター試験を受けなくてもいいので、とても入りやすくなっています。また就職にしても、高専というブランドはけっこう強力なようで、安定した企業に勤めている人が多いです。

中学生で自分の進路・将来について決断を下すのは難しいことだと思います。少しでも橋や都市計画、PC、車等に興味があり、工学について学びたいと思っている人は、是非、高専で学ぶことをお勧めします。格差社会になりつつある時代だからこそ、本物の力をつけ、技術者として社会に要求される人物となるため、高専に進学してみてもはどうでしょうか。